

JFC 石井農場 の 桜

よくあるお問い合わせ

雪が50センチ以上積もる地域で、桜の栽培をする場合の注意点を教えてください。

最近では温暖化で雪が重くなっています。降雪前、木の支柱を打ち込んで、桜木をその柱にしばりつけて潰れないようにします。

また、凍結する地方では窒素の多い肥料を与えると、落葉と枝の休眠が遅れ、枝の先端が凍死枯れ込みを起こしますので、ご注意ください。

啓翁桜（けいおうさくら）を栽培する場合の注意点を教えてください。

厳寒（-15℃以下）になるが雪は降らない地域では、凍害が発生することがあるので、冬になる前に幹を藁や毛布などで巻いておきます。

開花期に霜の降る山間部では、花や若葉が腐る病気が多発します。翌年の花芽は減りますが、これで枯れることは、今のところありません。

根も呼吸しています。通気性の悪い土壌（沼底をつくった土壌・粘土など）に植えた場合、成長停止して枯れてしまいますので、そんな場合は、砂土や鹿沼土などを混ぜて通気性をよくして下さい。

暑い地方で桜を栽培する場合の注意点は？

乾燥しないように注意して下さい。当農場で栽培されている桜は敬翁桜に分類され、この種類の桜は、気温 35 度を超えても暑さで成育が劣ることはありません。暑くなると土壌中の窒素の消耗が早くなる、虫が活発になる、水浸し土壌では病気が発生するなどの痛手を受けるかもしれないので、毎日観察して下さい。

ポット苗を庭に植えたいのですが、どのくらいの大きさの穴を掘ればよいですか？

ポットの中身が入る程度で十分です。

深さ 10 センチ、直径 12 センチというところでしょうか。

桜の枝は、切っても大丈夫ですか？

当農場の桜は切枝用に改良したもので、全ての品種について枝を切っても大丈夫です。

桜が大きくならないのですが・・・

矮性の桜たち、'千里孔雀' '山形おぼこ' '大聖夢' '春月花' などが巨木になることはありません。ただし、日本で小型でも実験的にタイなどで栽培すると巨木になったり枯れたりするものがあります。大型の桜が好みの方は、大きくなる桜をお買い求めください。

そのほかの原因には、日照欠乏・養分欠乏（普通自由宅の盛り土のみ）・暑すぎ・塩基性土壌（石灰岩過多）・塩分過多土壌（干拓地・海の近く）・害虫の存在などが考えられます。一つ一つ確認してみてください。

本来の日本の自然環境なら、桜は放っておいてもよく育ちます。盛り土、ヒートアイランド、外来害虫などにより本来の日本の環境が失われたところでは桜は難しいようです。

鉢植えと露地植えとでは、どちらが栽培しやすいですか？

地面に植えたほうが管理は楽です。鉢植えは出張・外遊で家を空けた際に、枯らしてしまうことが多いようです。

また、鉢植えを雨の当たらない場所に置いておくと、ダニなど普通つかない虫がつきやすくなります。また鉢の底から虫やナメクジが侵入して根を食べてしまうこともあります。

桜は地中温度が 40℃を超えると根が死んでしまいます。木や葉は日光を当てますが、鉢は直射日光が当たって高温にならないよう気をつけましょう。

休眠中(冬)の管理について教えてください。

冬に桜の葉が落ちてしまってから、家の中に入れておいたら干からびてしまったという、失敗談をよく聞きます。鉢植えは冬でも乾燥させないようにします。

また冬葉が落ちてからも屋外で管理したほうがよいでしょう。もし家に持ち込んで冬に花を楽しんだ場合、そのまま屋内で葉桜を管理して、霜が降らなくなってから外に出してください。やや開花のタイミングが狂ってきますが、当農場の桜は、これが原因では枯れることはありません。一般の桜は、枯れることもあるようなので、ご了承下さい。

海岸近くで桜は栽培できますか？

敬翁桜(keiozakura)系統と書いてあるものは、塩害に弱いので海岸近くでの栽培はやめたほうがよいようです。潮風の少ない特殊な海岸、有明海など内海での海岸での栽培はうまく育っています。

当農場育成の**Prunus lannesiana*’ や *Prunus verecunda*’ は塩害に強く、ほかの木が育つ海岸ならば、よく育ちます。ただし、海水のかからない場所を選んで下さい。

* *Prunus x(riken)* と表記している理化学研究所関連の品種は、ほかの桜と特質が非常に違っているのでご注意ください。

お気に入りの桜を増やして、知人におすそ分けしたいのですが・・・

個人で楽しむ目的で増殖するぶんにはよいのですが、登録品種・登録申請中の植物について、販売するなどの営利目的で、おすそ分けや増殖する場合には登録者の許可が必要です。もし無許可で行くと刑事罰を含む犯罪になりますので、ラベルを確認するなどの注意が要ります。

また、海外持ち出しも国により検疫など正規の手続きを踏まないと重大な犯罪になります。特に桜は、ほとんどの外国が持込を拒否しています。おすそ分けして貰った人に大変な迷惑がかかることになりますので、ご注意ください。

登録品種の表記のないものは、国内では、増やしたり、切花にしたり、売ったり、ご自由に使用いただけます。

実のなる桜を栽培したいのですが・・・

若木で、枝の先端に花がつかないうちの花は、あまり実をつけません。ある程度生長すると、よく実をつけるようになります。花にはほかの品種の花粉をつけてやるとよく実が付きやすくなります。ほかの桜はソメイヨシノでも大丈夫です。

果実は開花後約 35~40 日で熟します。赤から赤黒くなるころ、熟した日に実が一晩で約 2 ミリほど膨れるので、そのとき収穫すると完熟の美味しい実が採れます。その日の朝 4 時には収穫しないと、匂いがして鳥が 5 時には食べてしまいます。早起きして食べましょう。

また、湿地が近くにあるとミバエが、山手の近くではカメムシなどの虫に食害されます。虫と間接キスをしたくない人は、防虫シートで覆うとよいでしょう。

技術的お問い合わせ

育成元：石井重久 JFC石井農場

〒421-3301 静岡県富士市北松野 767-3
TEL：0545-85-3126 Email：sun@prunus.org
URL：http://www.prunus.net